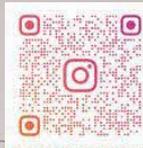


みさき

82号



議会HPへアクセスします



MISAKI_CHO_GIKAI_OFFICIAL

インスタ始めました!

美咲町議会だより

2025年11月10日発行



＜特集＞ 子育て支援策を考えよう……………②～③

主な内容 令和6年度決算審査……………④～⑦

こんなことが決まりました……………⑧～⑨

10議員が町政を問う……………⑮～⑳

表紙関連記事22ページ

大きく育て美咲の子ども まちの希望がここに輝く
美咲町HPアドレス <https://www.town.misaki.okayama.jp>

出前議会 with ひよこクラブ

美咲町の子育て支援策を 考えよう



小林こずえさん

森岡由貴さん

中西未咲さん



子育て環境の整備は町の最重要課題

本町は「美咲町こども計画」で、5年後の出生数の目標を50人とした。令和6年に生まれた子どもの数は美咲町全体で39人。子育て環境の整備は町の最重要課題の一つ。そこで、美咲町議会広報・広聴常任委員会の活動として、「出前議会 with ひよこクラブ」を9月30日に柵原児童館で開催し、現役ママさんたちにご意見を伺いました。



中村駿甫さん 家族

美咲町は自然が豊かで、人々が穏やかに暮らせる良い環境があります。しかし、若者にとってどんな利点のある取り組みがあるのかを知らない人が多いと感じます。そのため、町外の利点ばかりが耳に入り、町を離れてしまう若者が多いのではないのでしょうか。

若者のニーズを柔軟に取り入れた町づくりが重要です。商業施設や観光地が発展すれば、宿泊施設も充実し、町全体の活性化につながるのでは。住まい・仕事・遊べる場所の充実が鍵。美作岡山道の開通は美咲町にとって大きなチャンスです。



猪尾智子さん



小林遥さん



村上早紀子さん



山本明日美さん

《こんなご意見がありました》

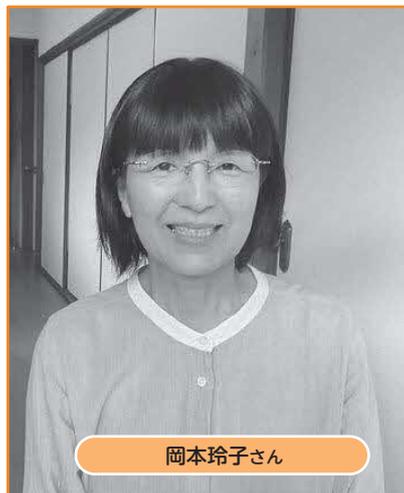
- 「オムツとおしりふきの支給をお願いしたい」
- 「近所に子どもが思い切り走り回れる広場があれば」
- 「雨の日に対応できる屋内型の遊ぶ場所があれば」
- 「一時保育の料金をもう少し安くしてほしい」
- 「児童館をもう少し利用しやすいようにしてほしい」
- 「主婦・主夫でも子どもを保育園に預けることができれば」
- 「町営住宅の所得制限を見直してはどうか」

※いただいたご意見を議会内で共有し、政策提言へつなげていきます。



《出前議会の感想をいただきました》

- 子育て世代は人数が少なく、声を届けるのに力不足なので、議員と一緒に考え進めていけると嬉しいです。
- このようなお話ができる機会をもっと作ってもらえたら、議員がどんなことをしてくれているのかわかりやすいと思いました。
- もっと意見を言う場があるといいなと思いました。また、さまざまな年代・立場の人で構成される議会になってほしいです。



岡本玲子さん

特集2

若者・女性に響く 美咲町の地方創生とは？

出生数も落ち込み、町から転出する若者、女性も相変わらず増加傾向。この課題に対し、美咲町はどう向き合うか。町の人に聞いてみました。

安心して子育てできる体制、弱者に寄り添い暖かく見守る体制を構築して今の若者の心に響く発信をしてほしいですね。

令和6年度
決算認定

48

項目の意見を付して

全会一致で承認



各委員が決算や事業内容をチェック

3日間にわたり決算認定特別委員会を開催し、令和6年度決算について各委員からの意見を集約。



決算認定特別委員会の報告書を
松島議長へ提出

決算審査において、各委員から出された指摘事項48項目をまとめた報告書を矢吹委員長、三船副委員長から松島議長へ提出。

議会からの要望書を青野町長へ提出

決算認定特別委員会からの報告書を基にまとめた議会からの要望書を松島議長、山本宏治副議長から青野町長へ提出。



決算認定特別委員会からの報告



決算認定特別委員会は、前年度で執行された予算が適正なものであったかを確認するため、全ての課が所管する決算について審査を担当しています。

委員長／矢吹一郎 副委員長／三船博之 ほか全議員を委員とする14人で審査しています。

来年度に
向けて

全体総括意見を付す!

本会議での委員長報告において指摘した特に付した意見は以下のとおりです。

意見 財政の健全化

大規模事業の起債償還を踏まえ適時に繰り上げ償還を実施し実質公債費比率の抑制に努める。

意見 居住環境の充実

次期振興計画策定には全世代の最適な生活環境を考慮した公共施設適正計画の策定を求める。

意見 広域連携への 未来志向

単一自治体では解決困難な課題については広域連携により包括的かつ効率的な解決を求める。

意見 指定管理の 適正な運用

事業報告に対し厳正な審査を行い団体のあり方や委託料の運用について必要な改善を求める。

意見 職員の適正な 人員配置

現在 DXを含めた業務改革の過渡期であり業務内容の検証による適正な人員配置を求める。

意見 公営事業会計への 移行

下水道事業会計として今後経営の分析・傾向を捉え課題を見直し健全な事業運営を求める。

決算審査 議員間討議を開催!

委員会での議員間討議で出た意見要望

○医療機関の広域的な体制整備に関して

県北では助産機能を有した医療機関が減少する状況になりつつあるが、中山間における医療体制整備の広域的な取り組みを求める。

○各種委員のなり手不足に関して

民生委員・児童委員、愛育委員、栄養委員のなり手不足に対応した対策として活動経費を見直し、組織運営の地域差をなくして、組織体制の統一を求める。



- 9月定例会：前年度決算を審査・認定

- 議会からの指摘・意見をとりまとめ
- 来年度予算などへの要望書を提出

- 3月定例会：来年度予算案を審査

決算認定特別委員会では、決算状況や事業内容をチェックし、「来年度予算にどう反映させるか」という視点で審査を行いました。

決算審査 私の意見!

一般会計	144億233万円(前年度比 8.4%減)
13特別会計	46億5,571万円(前年度比 0.8%増)
公営企業会計	20億3,114万円(前年度比29.1%増)

【※決算額は1万円未満四捨五入】

全議員14人を委員とする令和6年度歳入歳出決算認定特別委員会が設置され、9月10日から3日間にわたり決算の審査を行いました。

今回の審査では、①議会が議決した予算が効果的・効率的に執行されているか②決算における評価を来年度予算編成や役場の運営にどのように反映させるのかという点を中心に審査を行いました。ここでは各委員から出された48項目の指摘事項のうち主な意見を掲載します。

安心・安全

主な事業

公共施設管理、防災、国際交流、情報通信など

総務費	49億2,128万円
-----	------------

衛生費	9億520万円
-----	---------



延原委員

公営住宅の施策

政策空き家については、施策の一貫性を保持し解体処分などの早急な対応の実施を求める。



中西委員

職場環境の充実

意図的でない言動もパワハラとなる場合がある。職場環境の改善には特別職も含めた研修の実施を求める。



板垣委員

集約化事業の跡地利用

公共施設集約化事業の跡地利用について、住民参画の計画的かつ迅速な有効活用を求める。

福祉・教育

主な事業

高齢者福祉、障がい者福祉、児童福祉、学校教育など

民生費	37億5,306万円
-----	------------

教育費	9億7,617万円
-----	-----------



山本宏治委員

子ども施策の充実

子どもの笑顔が輝く、本町独自の新しい企画による施策の検討を求める。



小林委員

指定管理の適正な運用

一部団体へ事務費として補助金支出が見られるが、団体の目的・ニーズなど、監査委員を含めた精査を求める。



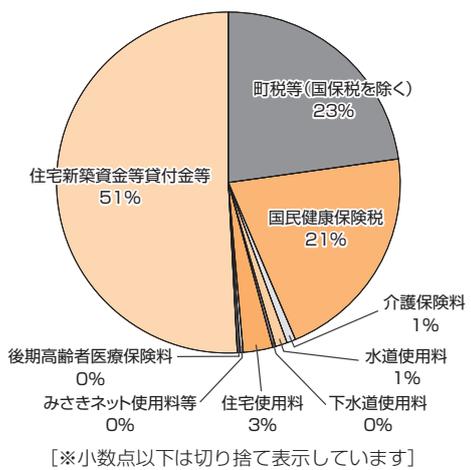
藤井委員

高齢者世帯の熱中症予防

高齢者世帯、生活保護世帯の酷暑対策として、エアコン設置状況の調査と対策を求める。

歳入・歳出決算認定を全会一致で承認しました。

滞納状況 令和7年度滞納繰越額



町税等(国保税を除く)	3,594万3,586円
国民健康保険税	3,277万4,132円
介護保険料	231万7,803円
水道使用料	97万1,861円
下水道使用料	27万9,150円
住宅使用料	537万9,050円
みさきネット使用料等	13万690円
後期高齢者医療保険料	57万1,717円
住宅新築資金等貸付金等	8,163万9,977円
合計	1億6,000万7,966円

特別会計・公営企業会計

主な事業

みさきネット、国民健康保険、介護保険、上・下水道など

特別会計事業 46億5,571万円

公営企業会計事業 20億3,114万円

左居委員



消防組織の充実

消防団員の定数確保のため機能別団員制度導入の検討と、報酬・手当の改善を求める。

松田委員



有収率の抜本的な対策

漏水対策として、アセットマネジメント、水道基本計画に沿った抜本的な対策の着実な実施を求める。

大天委員



墓地公園の将来図

少子化、居住地の関係で墓地公園の墓じまいなども懸念されるが、将来に備えての検討を求める。

産業・建設

主な事業

農林業振興、道路整備、観光、災害復旧、企業誘致など

農林水産事業費 6億8,953万円

土木費 9億8,925万円

山本資委員



道路維持管理の地域展開

多額な予算を要する道路維持管理には、機材などの有効活用により地域との連携強化を求める。

江原委員



分譲地・町所有の財産の有効活用

空き分譲地の早急な公募の実施と、町所有の空き地の計画的な有効活用を求める。

松島委員



森林環境譲与税の有効な使途

都会から中山間地域へ増額移行された森林譲与税の使途について、目に見える取り組みを求める。

以上のような審議を経て、美咲町議会は令和6年度

条例

個人番号カードの利用に関する
条例

町民の利便性を向上させるため、マイナンバーカードの空き領域を黄福タクシー事業に利用するため条例を制定する。

企業版ふるさと納税基金条例

企業版ふるさと納税の寄付金を財源として安定的に運用するため条例を制定する。

みち停あさひの設置及び管理に
関する条例の二部改正

みち停あさひの改修に伴い施設内容に変更が生じたため条例を改正する。

人事

◎人権擁護委員候補者の推薦に同意

人権擁護委員候補者の推薦が提案され、全会一致で同意した。任期は令和10年12月31日までの3年間。

◇美咲町原田 池上佳苗氏(再任)

◇美咲町錦織 杉本八重美氏(再任)

◇美咲町藤田上 山下一巳氏(再任)

などの予算を拡充

7億9,582万円など追加議案を含め35件の議案が議決されました。

午睡チェックシステムの導入

町内4保育園の園児がお昼寝をするとき、AIカメラで呼吸をチェックするシステムを導入する。

〔児童福祉施設費 1,807万円〕



水道基本料金無料 10月まで

水道基本料金(1,650円)の無料期間を10月分まで延長する。

〔企画費 962万円〕



月の輪プラザ経常管理費

月の輪プラザの売却に向けて、測量などの手続きを進める。

〔体育施設運営費 595万円〕



お試し暮らし住宅整備

旭地域に「お試し暮らし住宅」を1軒整備する。

〔企画費 1,285万円〕



9月議会

でこんなことが
決まりました

乳幼児・空き家対策

令和7年9月1日から19日まで定例議会が招集され一般会計補正予算

情報化システム変更

国が推奨するシステム標準化に対応するため仕様を変更する。

〔企画費 1,512万円〕



重層的支援体制の整備

本年度からの事業である重層的支援体制整備事業の適正な予算の組み替え。

〔社会福祉総務費 135万円〕



議案質疑

空き家関連事業の増額補正

板垣正寿 議員



問 空き家対策事業1,285万6,000円、空き家活用定住促進事業補助金920万円の増額補正の内容は。

答 空き家バンク制度を通じて空き家の購入、改修などを移住者支援するもの。

防災対策事業費を増額

飯岡地区、吉ヶ原地区の内水対策として排水路などの設計および工事、加えて排水ポンプ購入のため。

〔自然災害防止事業費 1億6,370万円〕



契約

◎ 契約の提案があり審議の結果、全会一致で承認した。

〔工事請負契約の変更〕

◇ 飯岡コミュニティセンター整備事業

ライフデザイン・カバヤ(株) (株)ベ

ン建築設計共同企業体(岡山市)

5億7,128万3,900円(税込)

◇ 大坪和コミュニティセンター整備事業

(株)山本工務店 (株)丹羽建築設計事

務所共同企業体(津山市・岡山市)

2億3,007万6,000円(税込)

〔財産の取得〕

◇ 柵原ふれあい鉾山公園遊具一式

タカオ(株)(福山市)

990万円(税込)

表彰

松島啓議長に、美咲町功労者表彰が贈呈されました。(議会議員在職20年以上かつ功績が認められたため)



議長

松島 啓

委員会 の活動

総務・産業常任委員会からの報告

総務・産業常任委員会は、総務課、理財課、地域みらい課、くらし安全課、税務課、上下水道課、産業観光課、建設課、みさき共創室、各総合支所地域振興課が所管する予算その他の案件について審査を担当しています。

委員長／左居喜次 副委員長／山本 資 委員／江原一夫、大天嘉行、延原正憲、松田英二、山本宏治の7人で審査しています。

【地域みらい課】 お試し暮らし住宅

問 空き家対策として計上された事業費の計画内容はどのようなものか。

答 旭地域の空き家を改修して新たな「お試し暮らし住宅」を整備するための予算を計上した。

【みさき共創室】 ふるさと納税基金新設

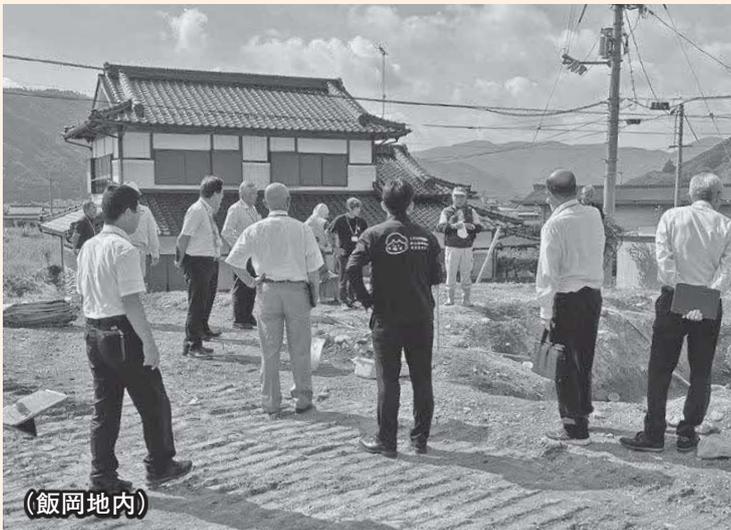
問 企業版ふるさと納税の基金条例はなぜ必要なのか。

答 企業版ふるさと納税の寄付金は年度内に使わなければならないため、使えなかったお金を基金に積み立てる。

【くらし安全課】 情報化基盤の整備

問 情報化システムの変更はどのような内容になるのか。

答 国が推奨するシステム標準化に対応するため上下水道システムの変更や中間サーバーの更新を進める。



(飯岡地内)

9月9日、総務産業常任委員会では整備を進めている飯岡コミュニティセンターに文化財が出土したため現地確認を行った。

【上下水道課】 水道基本料金無償化を延長

問 国からの物価高騰対策重点支援交付金が追加されたが使用方法は。

答 7月～9月分の水道基本料金を無償化していたが、今回の交付金を活用して10月分まで無償期間を延長する。

【建設課】 内水対策の予算を追加

問 追加された自然災害防止事業の予算は何を整備するのか。

答 飯岡地区、吉ヶ原地区の内水対策として排水路などの設計および工事。加えて排水ポンプの購入を予定している。

【旭総合支所地域振興課】 三休公園の今後

問 三休公園の茶屋など施設が撤去されているが、今後の施設整備は考えているのか。

答 住民との話し合いの場を設け、より良い方向を検討していきたい。

視察研修報告 ▶ 高齢社会におけるデジタル化・徳島県神山町



〈神山町公共交通システムデジタル化〉

●徳島県神山町は、人口4,594人・総面積173km²の中山間地域に位置した町である。

●神山町では、令和5年度から町営バスを廃止し新たな地域公共交通制度となる「まちのクルマLets」を開始させている。

●本町の「黄福タクシー」制度と同等の制度となるがいくつかの相違点も見られ、中でもデジタル化への対応が注目される。

〈専用アプリさあ・くる〉

●まず、高齢社会におけるデジタル格差の解消と情報発信に向けて神山町独自のアプリ「さあ・くる」を開発し、町民に向けたデジタル講習会が随時開催されている。

●このアプリの中には町からのお知らせ、まちのクルマLetsの予約、町の広報誌、ビデオ通話などが網羅されており、60歳以上の人がいる世帯にタブレット1台が無償で貸与されている。

〈地域公共交通システム〉

●まちのクルマLetsの運行には民間のタクシー事業者に加えて「自家所有有償旅客運送」（公共ライドシェア）が交通空白地の運送を補っている。

●役場か支所・公民館の窓口でマイナンバーカードを提示することにより利用登録が簡単で、アプリや電話で予約して利用することになっている。

●この制度を活用すること

- ①マイナンバーカードによる本人認証
 - ②利用者からの予約受付と事業者の運行管理
 - ③GPSによる距離計算
 - ④柔軟な運賃設定と補助金設定
 - ⑤キャッシュレス決済
 - ⑥運行実績はすべてクラウドに保存する。
- など利用者にも業者にも役場にも有益な活動が展開されており、本町の取り組みに対して大いに参考となる研修であった。

視察研修報告 ▶ 兵庫県広域防災拠点・兵庫県三木市



兵庫県広域防災拠点ネットワーク

〈兵庫県三木全県広域防災拠点〉

●兵庫県は30年前の平成7年1月に発生した「阪神淡路大震災」を教訓として県内6カ所に防災拠点を設置している。

●県の中心地である三木市防災拠点は広域防災拠点ネットワークの中核と位置づけられ、205haの敷地を開発して2005年にオープンした。

〈充実した防災機能とレクリエーション機能〉

●広大な敷地内には、救援物資や救助資機材などの備蓄機能、県内外からの救援物資の集積・配送機能および災害応急活動要員の駐屯・宿営機能などが備えられ、防災人材の育成拠点となる学習・訓練ゾーンや防災ヘリポートも設置されている。

●一方で平常時には県民が気軽にスポーツに親しむための陸上競技場・屋内テニス場・サッカーコート・野球場・グラウンドゴルフ場・芝生広場などが整備されスポーツ・レクリエーションの拠点となる防災公園ゾーンとしても活用されている。

●南海トラフ地震や異常気象による大雨災害などに対応できる防災拠点の必要性を強く実感させられた研修であった。

委員会 の活動

民生・教育常任委員会からの報告

民生・教育常任委員会は、住民生活課、保険年金課、健康推進課、福祉しあわせ課、こども笑顔課、教育総務課、生涯学習課、各総合支所地域振興課が所管する予算その他の案件について審査を担当しています。

委員長／小林達夫 副委員長／藤井智江 委員／三船博之、中西伶王、矢吹一郎、板垣正寿、松島 啓の7人で審査しています。

【住民生活課】 カード印刷装置負担金増

問 情報公社への負担金17万3,000円増額の理由は。

答 マイナンバーカードの印刷費が増額となったため。

【保険年金課】 システム改修費の増額

問 893万2,000円のシステム改修費は。

答 来年4月から始まる子ども子育て支援金制度の事務処理をするシステム改修費。

【健康推進課】 葉酸サプリの支給

問 葉酸サプリの支給で何が期待できるか。

答 生まれてくる子どもの先天的な神経管閉鎖障害を予防。



(西川地内)

9月4日、民生教育常任委員会では、あさひなた内に整備されている西川診療所、子ども第三の居場所「みさキッズあさひ」の現地視察を行った。

【福祉しあわせ課】 あさひが丘改修

問 あさひが丘の改修費159万2,000円の内訳は。

答 合併浄化槽の水中ブローと放水ポンプの修繕を行うもの。

【こども笑顔課】 放課後児童クラブ

問 放課後児童健全育成事業の262万5,000円は。

答 子ども・子育て支援交付金要綱の改正により委託料を増額するもの。

【教育総務課】 保育園午睡チェック

問 1,550万円のデジタル午睡チェックとは。

答 AIカメラを設置し保育士の目視とのダブルチェックで万全を図る。

視察研修報告 ▶ 阪南市版 重層的支援体制整備事業・大阪府阪南市

〈阪南市の状況〉

● 阪南市は大阪府の一
番南に位置し、人口4
9,600人、総世帯数
24,188世帯、高齢
化率35.02%の市
である。

〈事業開始までの経緯〉

● 阪南市では平成10年
度から12の小学校区に
福祉委員会を設け小地
域ネットワークを開始
し、平成12年度には、第
1期阪南市地域福祉計
画および実施計画を社
会福祉協議会との協働
で策定した。
● 平成17年度には、市



公・民が一体となった重層的支援体制

内4圏域の社会福祉法
人にコミュニティソー
シャルワーカーを配置
し地域連携による相談
支援を推進した。
● 平成22年から地域で
の日常の見守りと災害
時の安否確認体制を整
え、24年度から地域支
えあい体制づくりを行
い、災害時要支援者登
録事業システム導入、
まちなかサロン、介護
予防活動などの環境を
整えた。
● 26年から28年度にか
けて買い物支援プロジ
ェクトチームを立ち上

げ、買い物支援兼ボラ
ンティアコーディネート
ターの配置を行った。
● 平成28年度に第3期
地域福祉推進計画を策
定し、地域包括支援セ
ンターを直営から社
協・医療法人に委託し
2カ所にした。
● 平成29年度から共生
の地域づくり推進に取
り組み、地域力強化を
進め「子ども福祉委員
」の創設、まちなかほっ
こり相談を始めた。共生
の地域づくりを進める
ため、15の課で庁内連
携推進会議を立ち上げ
た。

〈重層的支援体制〉

● 地域住民の複雑化・
複合化した支援ニーズ
に対応するため、I相
談支援、II参加支援、
III地域づくりに向けた
支援を一体的に実施す
る重層的支援体制整備
事業が国から示され令
和3年度に準備をして
4年度から、重層的支
援体制整備を実施した。

〈阪南市の重層的支援 体制事業の考え方〉

● 国モデルではなく蓄
積した地域福祉基盤を
大切に独自の阪南市版
の包括的な支援体制づ

子ども福祉委員 ～ 多様な担い手・持続可能社会 ～

学校外の自主活動。社協・民生委員などのサ
ポートのもと、地域の課題を自分たちで把握し、
困りごと解決の活動を創設。



〈意識変化アンケート〉

「ボランティアで
自分の性格や行動が変わった」 91%
「将来は阪南市に住みたい」 62%

くりを公民協働で進
め、行政を中心とした
「公」と社協を「民」
の要とし、住民の組織
化や社会資源の開発な
ど、中間支援機関の役
割を担うパートナーと
して位置づけている。

● 「子ども福祉委員」
として活躍した子ども
たちが、高校生・大学
生になり、地域福祉の
みならず地域のリーダ
ーとして活躍している。
子ども時代から地域と
つながり続けられる地
域づくりが大切である。

● 国が示す「重層的支
援」ではなく「阪南市
版重層的支援」が行わ
れている。これまでの
共生の地域づくりの積
み重ね、社協の地道な
地域福祉活動が土台と
なり、住民の幸せに軸

● 阪南市の地道な地域
福祉活動に学び、希望
が湧いてくる地域づく
りに力を尽くしたいと
思いを新たにしたい。

議会費あれこれ

令和6年度分

◎ どれくらいお金がかかっているの？

▲ 議会運営にはこのくらいかかっています。

項目	金額
議員人件費	5,408万9,754円
一般職員人件費	1,806万6,973円
経常管理費	581万5,971円
各種負担金（退職議員の年金など）	1,641万1,004円
合計	9,438万3,702円

◎ 報酬ってどれくらい？

▲ 月額報酬は次のとおりです。

議長	31万5,000円
副議長	26万2,000円
常任委員長	24万6,000円
議員	24万円

◎ 何日くらい活動しているの？

▲ 年間の活動日数です。

議長	279日
副議長	215日
議員 (議長・副議長を除く12人)	140日

◎ 視察研修費ってどれくらい？

▲ 令和6年度は先進地を訪問しての視察研修を行いました。

視察研修費	237万1,585円
-------	------------

◎ 議長交際費は何に使うの？

▲ 交際費は議長が議会を代表して外部と交際し、議会運営をより円滑に進めるために必要とする費用です。主に見舞金や弔慰金などに使っています。

議長交際費	9万620円
-------	--------

町政を問う

一般質問は町民を代表し、

町長・教育長などに

町の方針や施策を問います。

ページ	議員名	質問内容
16	小林 達夫	◎ 福祉行政の新体制は
16	矢吹 一郎	◎ 学校体育館への空調機設置は ◇ 美咲町のDX推進に向けた今後の計画は
17	山本 資	◎ 在宅介護者への支援は ◇ 今後の図書館のあり方は
17	中西 伶王	◎ 第三次教育振興基本計画の達成度は ◇ 職員の人事評価制度の現状は
18	板垣 正寿	◎ ごみ削減による環境保全対策を ◇ 外国人受け入れの体制整備の充実を
18	大天 嘉行	◎ 新庁舎になってバス停の待合所は ◇ 基金の保有期間と運用は ◇ ふるさと納税のPRを ◇ 災害時の対応は

ページ	議員名	質問内容
19	江原 一夫	◎ 農作物の被害への対策は ◇ みさキラリの周辺整備の現状は
19	三船 博之	◎ 第四次振興計画の農業施策は ◇ DX推進計画の進捗状況は
20	松田 英二	◎ 河川災害防止への取り組みを急げ
20	藤井 智江	◎ 新しい地方創生にどう取り組むか ◇ 「子どもの権利条例」の制定を ◇ 学校給食の無償化への対応は

議会だよりには、1問掲載
しています。
各議員の質問については、
誌面のQRもしくは
美咲町YouTubeチャンネルで
確認していただけます。

質問

福祉行政の新体制は

答弁

重層的支援体制整備に努める



小林達夫(こばやし たつお)議員

問 福祉事務所を県に移管した後、福祉行政の現状はどうか。

また、重層支援センターの取り組みと課題について問う。

答 青野町長

今まで通り生活困窮などの相談は町が受け、必要があれば県につなぐ。

また、介護・障がい・子育て相談などは各担当課が受け、複雑な問題は福祉しあわせ課内に設置した重層支援センターが相談機関と支援をしていく。

答 門川重層支援センター長

重層支援センターへの相談は、生活困窮、家族関係、心体の

相談が主なもので、問題が複雑なものは重層支援センターが調整役を担っている。

課題は、支援が必要な人に早く気付くことができる地域を含めた体制づくりである。

問 社会福祉協議会との連携体制はどうか。

答 門川重層支援センター長

社会福祉協議会に一部事業委託し、本人、家族が望む活動の場や地域へつなぐ支援などを進めている。

重層支援センター、アドバイザー、社会福祉協議会と共に、重層的支援体制整備に努める。



相談できる体制を

質問

学校体育館への空調機設置は

答弁

整備に向けて検討する



矢吹一郎(やぶき いちろう)議員

問 学校体育館は、子どもたちの学習、生活の場であると

共に災害時には避難所として活用される。避難所機能を強化し、災害対応の向上を図る必要がある。

国は、空調整備の早期実施に向けて補正予算措置などにより、今後

10年後の設置率95%の目標を掲げている。

本町の学校体育館は5施設であるが、すべてが災害時での避難所指定となっている。

財源については、学校施設改善交付金、空調設備整備臨時特例交付金、緊急防災・減災事業債などの有力な財源の活用方法がある。早急な対応の検討を求め。

答 青野町長

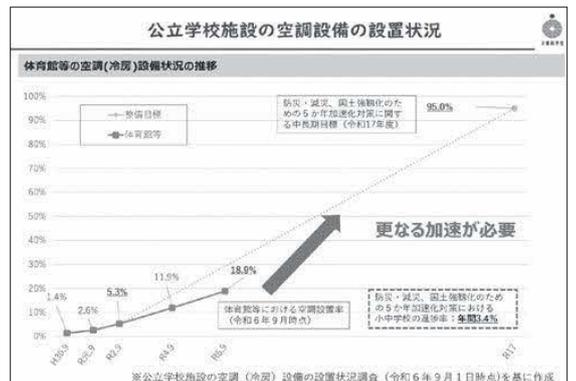
学校体育館は教育活動、社会体育、非

常時には避難所として利用することとしている。

特に、子どもたちが、安全かつ快適な環境で学び、運動や行事に安心して取り組む上で空調設備は早急に対応すべき課題と認識している。

答 結石教育総務課長

財政状況を勘案し、国庫補助金や地方債、また今後、国の支援の動向に注視し、整備に向けた検討をしていく。





山本 資(やまもと たすく)議員

質問

在宅介護者への支援は



答弁

寄り添ったサービスを提供する

制度の見直しを行い、実な要望もあり、この切当の制度を設けている。在宅介護者からの切実な要望もあり、この制度の見直しを行い、

答 青野町長

在宅介護者支援は、難しくなっている。幸せを実現することが難しくなっている。在宅介護者支援は、

問

介護が必要な状態になっても、できる限り住み慣れた自宅で、地域で安心して暮らし続けたいが、介護保険や医療保険などの社会保障制度を活用しても、自宅で普通の幸せを実現することが難しくなっている。



在宅介護の充実を

対象要件の緩和を行った。併せて、特別障がい者の人を在宅介護する家族に対しての在宅重度障害者介護者支援手当も新たに加えた。

答 牧野保険年金課長

在宅および介護保険施設それぞれの生活に適切なケアプランを、担当のケアマネジャー、本人、家族と相談の上で作成している。

利用者が在宅および介護保険施設で生き生きと自分らしい生活ができるよう、寄り添った介護サービスの提供に取り組み。

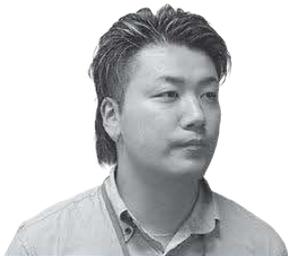
質問

第三次教育振興基本計画の達成度は



答弁

外部評価で「目標ほぼ達成」



中西伶王(なかにし れお)議員

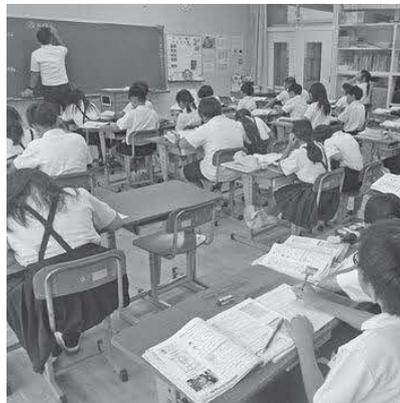
問

令和3年度から7年度までの第三次教育振興基本計画の達成度を問う。

答 藤原教育長

基本計画に基づき、本町の課題に合わせて確かな学力、豊かな心、健やかな体を3つの基本施策として掲げている。

また、重点施策として小中一貫教育の推進と義務教育学校の創設、キャリア教育の推進、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の推進の3点に取り組んできた。加えてICT教育や読書活動など、子どもを取り巻く環境全体の充実にも力



教育のさらなる充実を

を注いでいる。

問

令和6年度の外部評価では、教育委員会と学校が連携、協力、工夫し、目標がほぼ達成できているとの所見をいただいている。

答

藤原教育長
現在、第四次美咲町教育振興基本計画の策定準備を進めている。

教育のさらなる充実、発展のためにも、最終年度である本年度、子どもたち一人一人が将来の美咲町を支える人材へと成長できるように引き続き取り組んでいく。



板垣正寿(いたがき まさとし)議員

質問

ごみ削減による環境保全対策を

答弁

ごみを出さない社会へ変革が必要



問 町内のごみは1年間でどれ程の量か。その処理費用は。

答 篠原住民生活課長 本町から津山圏域クリーンセンターへ搬入されるごみは、令和6年度3,086トンで、処理費用は約2億円である。

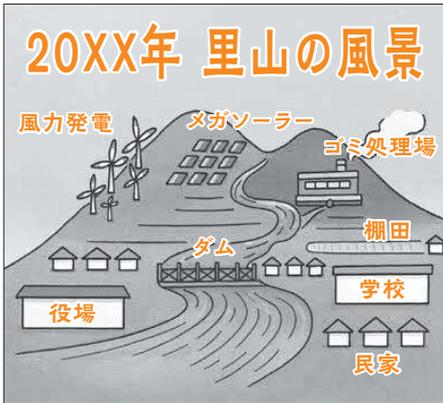
問 ごみ削減の施策とその効果は。

答 青野町長 令和3年度に「ごみ減量宣言」を出して以降、ごみの減量化や分別による資源化の呼びかけにより、令和6年度は360トン、550万円程度の削減につながっている。

問 現代の廃棄物処理システムは最終的に埋め立てが前提となっており、自然環境に負荷を与えるという観点から持続可能なシステムとは言い難い。未来の廃棄物処理の課題をどう捉えているか。

答 青野町長 大量生産、大量消費、大量廃棄のサイクルは、資源の枯渇や環境汚染などさまざまな問題を引き起こす。最終処分場ありきから、できるだけごみを出さない社会へと変革することが必要だと考えている。

イメージ図



この風景は美しい?美しくない?

質問

新庁舎になってバス停の待合所は

答弁

福祉巡回バスの乗車場を検討する



大天嘉行(だいてん よしゆき)議員

問 新庁舎になって、バス停の待合所は新しく快適になったが、乗降時には階段があり、雨の日などとても不便になった。

答 水島くらし安全課長 新庁舎のバス乗車場において、雨天時の利用者の不便さや安全性の課題は十分に認識している。

バス乗車場がスロープ位置から離れている点や、階段と手すり部



もっと便利なバス停に

分も雨に当たることから、支所間バスや和田北線の福祉巡回バスについて、玄関横の乗降を検討している。

新庁舎に移転後は安全管理の観点からも、十分な対応が難しいことを考慮し、旧第2分庁舎のバス待合所およびトイレを再度解放する予定はない。

引き続き庁舎の安全面に配慮しつつ、利用者の利便性向上に努めていく。



江原一夫(えばら かずお)議員

質問

農作物の被害への対策は



答弁

町としてできる限りの対応を行う

問 物価高の影響で耕作機械の更新が困難になっている。購入補助はできないか。

答 関係機関の協力を得ながら、町としてできる限りの対応を行う。この動向に留意しつつ、農業者の負担軽減につながる取り組みを検討し、農業の持続的な発展を支える施策を推進する。

答 青野町長

6月から8月にかけて、不安定な気象状況となっており、農作物の生育や量、品質に影響がおよぶ恐れがあり、農業者の多大な苦勞に心を寄せている。

さらに、令和9年度には国の農業政策が大きく変更される見込みであり、コメ増産方針の公表もあった。米本産業観光課長は、国や県の補助制度を活用した事業がある。本町独自の農業支援策として、本年度より美咲町スマート農業推進事業補助金を運用している。

問

猛暑と渇水により、農作物の被害が聞かれる。町として何か対策を考えているか。

答

米本産業観光課長 耕作機械の購入支援については、国や県の補助制度を活用した事業がある。



渇水による深刻な被害

質問

第四次振興計画の農業施策は



答弁

農業支援策を検討して行く



三船博之(みふね ひろゆき)議員

問

国は、減反政策の間違いを認め、増産に向けて180度、舵を切り直すと宣言した。

答

できないか。

米本産業観光課長 町単独事業としては現時点では難しいが、国や県の財源が見込まれる制度に関しては、積極的に取り組み、農業者の負担軽減に向けた対策を検討していく。

答

本町の第四次振興計画での農業政策は、米本産業観光課長 第三次振興計画からの継続した課題である農業者の高齢化、農業の担い手不足、農地集積などの課題に引き続き取り組む必要があると考えている。

問

この4、5年が

肝心であるが、町長の言われる「選択と集中」の集中を、農業施策に活かすべきでは。

答

国は期待できない。今こそ財源の問題もあるが、時限立法で農業の支援・助成などで農業を支えることが

米本産業観光課長 農業の持続的な発展のため、限られた財源を最大限有効活用するように検討する。



農業をもっと大切に



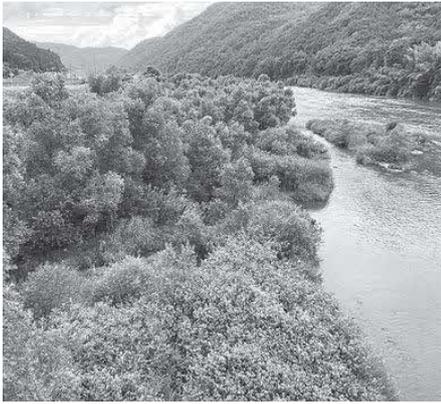
松田英二(まつだ えいじ)議員

河川災害防止への取り組みを急げ

質問

国や県に強く要望を続けていく

答弁



河なのか森なのか

問

線状降水帯による大雨が原因で河川水位が上昇し、集落や農地への甚大な被害が全国各地で発生している。

この状況を重く見た国は緊急浚渫推進事業の期限を5年間延長させることに決めた。

しかし、本町を流れる一級河川吉井川・旭川の河道整備は停滞している状況にある。

県に対して強く要望するべきではないか。

答

林田建設課長

町内を流れる普通河川は町が、一級河川は県が整備している。それぞれの河道整備

問

について地元から多数の要望が提出されており、国や県に対する重点要望事項として引き続き要望を行っていく。

答

林田建設課長

残土処分場については、地域の協力も得ながら整備を進めていく。

盛土規制法の強化などによって処理場確保がより困難になっているが、広域や民間の処理場が活用できるような体制の構築は考えられないか。

木伐採を行うためには建設残土の処理場確保が求められる。

盛土規制法の強化などによって処理場確保がより困難になっているが、広域や民間の処理場が活用できるような体制の構築は考えられないか。

問

青野町長

①町の特性を生かした施策を展開し、若者が定住したくなるようなまちづくりを掲げていたが、取り組みが進まず成果を上げられなかった。

新しい地方創生にどう取り組むか

質問

町独自の総合戦略を検討している

答弁



藤井智江(ふじい ともえ)議員

問

①地方創生1期、2期の取り組み実績は。

②地方創生2.0は何を重点に取り組むのか。

答

青野町長

①町の特性を生かした施策を展開し、若者が定住したくなるようなまちづくりを掲げていたが、取り組みが進まず成果を上げられなかった。

②住民主体による地域福祉や切れ目のない子ども・子育て支援の1層の充実、美咲町に住んでいる人の生活をより快適にし、地域への愛着を深めることで結果的に定住・移住を促

問

今住んでいる人たちが幸せを実感できるまちづくりを具体的にどう進めるのか。

今住んでいる人たちが幸せを実感できるまちづくりを具体的にどう進めるのか。

答

青野町長

人口減少社会の中で、まちづくりを人ごととせず、自分ごととして考えてもらいたい。

一人でも多くの人に何らかの役割を担ってもらい、住民総参加で小規模多機能自治を進め、力を合わせて前を向いていく。



期待される小規模多機能自治

視察研修

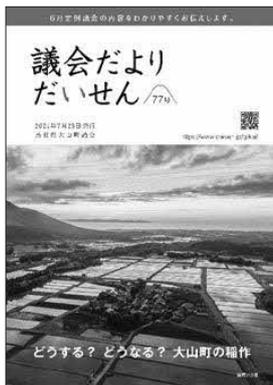
岡山県町村議会議員研修会



8月4日に岡山県町村議会議長会主催の議員研修会が岡山市内で開催された。弁護士の帖佐直美講師から「議員が注意すべきハラスメントのポイント」、全国町村議会議長会調査部長の飯田厚講師から「議員の役割と職務」についての講義があった。

いずれの講義もこれからの時代に対応できる議員のあり方を考える有意義な研修であった。

大山町議会だよりを視察



8月7日に広報・広聴常任委員会で議会だよりの先進地である鳥取県大山町議会にて視察研修を行った。誌面・内容のこだわりなどについて意見を交わし、本町の議会だよりに今後何が必要であるかを再確認できる貴重な研修だった。

大阪府岬町議会を視察



9月25日に友好交流都市協定を結んでいる大阪府岬町議会を訪問して意見交換会を行った。

それぞれの議会活動の中から良い所を学び合うことを目的としたもので、岬町が取り組んでいる選挙公報の発刊について意見交換を行った。

美咲町でも取り組めるかどうか今後関係機関と協議していくことを確認した。

議会傍聴者の声

9月議会定例会の傍聴に来られた人にご意見をお聞きしました。



- 以前から傍聴に行きたいと思っており、今回友人に誘われて来ました。
- 初めてだったのでいろいろ勉強になりました。
- テレビやネットでは分からない雰囲気を実感できました。
- 議員や役場職員と話ができ、親近感を覚えました。
- 議員が町民の意見を一般質問に反映させていて、嬉しく思いました。

全国の議会が美咲町へ

美咲町議会は、積極的に全国からの視察研修を受け入れています。
全国の議会との意見交換を通じて、諸問題の解決策のヒントを得ています。



- 高知県安田町議会 【議会運営視察研修】
- 福岡県広川町議会 【議会広報視察研修】
- 徳島県勝浦町議会 【議会運営視察研修】
- 鳥取県大山町議会 【議会運営視察研修】
- 愛知県瀬戸市議会 【議会運営視察研修】
- 広島県神石高原町議会 【議会運営視察研修】

令和7年12月定例会の予定

令和7年12月に予定されている美咲町議会定例会は
◆12月1日(月)開会～12月12日(金)閉会の12日間
◆一般質問は12月2日(火)～12月3日(水)の2日間
(なお、日程が変更される場合にはみさきテレビなどでお知らせしていきます)



表紙の紹介

～ 出前議会 with ひよこクラブ ～

9月30日、柵原児童館にて出前議会が開催されました。今回は、柵原地域のひよこクラブ(乳幼児クラブ)からご依頼をいただきました。



町民の皆さんこんにちは

このコーナーでは、現在美咲町が取り組んでいるニュースポーツについて特集します。ニュースポーツとは、技術やルールが比較的簡単で、子どもから高齢者まで、障がいの有無にかかわらず、だれもが競うことよりも楽しむことを目的に新しく考案されたスポーツのことです。普段運動をしない人や、運動が苦手な人にもおすすめです。美咲町はニュースポーツの普及を目指しています。

みさキッズニュースポーツ体験事業

第1回

スポーツ名：モルック



●どんな内容ですか

モルックと呼ばれる棒を投げて、倒れた木製のピン(スキットル)の点数によって加点していき、先に50点ぴったりになるまで倒したほうが勝ちの、競技スポーツです。ボーリングに少し似ています。

●どこで開催しましたか

月に1回、みさキッズあさひで開催しています。

●参加対象は誰ですか

主に旭学園の1~9年生です。

●活動で大切にしていることは何ですか

誰でも楽しめることが第一義です。生涯スポーツの推進、幅広い年齢層のスポーツライフを豊かにすることです。

●どんなところが特徴ですか

ルールがやさしく運動量が適度で、年齢や男女によるハンディが少ないのが特徴です。

●運営は誰が行っていますか

美咲町スポーツ推進委員が運営を行っています。

編集
後記

令和6年の1
年間に町内で生
まれた子どもの
人数は39人でした。

20年前の合併当初には
100人を超える出生数
であったものが、60%以上
減少してしまつた現状に
は町全体に大きなショック
を与えています。

今回の議会だよりには
若いお母さん世代の意見
を特集として掲載してい
ます。

本町の子育て支援策は
決して他の自治体に劣る
ものではありませんが、
若い世代の意見が少しで
も政策に反映されて出生
数の増加に結びつこう
に議会としても全力を尽
くします。

(松田記)

広報・広聴常任委員会

委員長 板垣 正寿

副委員長 松田 英二

江原 一夫

中西 伶王

山本 資

藤井 智江

美 咲 町 議 会 フ ォ ー ラ ム

美咲町議会では、このたび議会フォーラムを開催いたします。
大正大学の江藤教授をお招きして、講演をいただいた後、参加者同士の
意見交換会を行います。
私たちとともに美咲町の未来について一緒に考えましょう。

ご参加お待ちしております。

01 講演 大正大学 江藤俊昭教授
投票率の低下は自治体の衰退につながる
大きな危機

02 意見交換会（ワークショップ）
[主権者意識の醸成と選挙投票率の向上]
について

《応募受付期間》

令和7年11月21日（金）まで

《応募方法》

- 右記の二次元コードから申込
- 下記の連絡先へ電話により申込
- 美咲町議会事務局で直接申込

※ いずれかの方法でお申し込みください。



会場：美咲町役場 2階
エントランスホール

11/29 土

主催：美咲町議会 岡山県久米郡美咲町原田2144-1
TEL 0868(66)1128

14:00~16:30
受付13:30~